

環境委員会資料

1 所管事務の調査（報告）

(1) 川崎港巡視船建造の経過について

資料 川崎港巡視船建造の経過について

港 湾 局

(平成30年1月25日)

川崎港巡視船建造の経過について

資料

1 契約概要

- (1) 件名 川崎港巡視船建造
- (2) 受注者 東亜鉄工株式会社
- (3) 契約金額 272,033,640円(変更契約後最終契約額)
- (4) 契約日 平成28年4月1日
(履行期限 平成29年3月31日、平成29年度に事故繰越)
- (5) 仕様書 速力(試運転)19ノット以上

2 新造船の概要

(1) 目的

港湾局所有船「つばめ」は、港湾区域内の巡視業務をはじめ、油流出や海難事故発生時の対応業務、災害発生時の帰宅困難者や緊急物資搬送等を担っている。

こうしたなか、建造から40年以上が経過し、老朽化が進んでいるため、新たな船舶を建造し、効果的な管理・運用を図るものである。

(2) 新造船とつばめ(既存船舶)との比較

	新造船の発注仕様	つばめ(既存船舶)
外見		
総トン数※	約30トン	27.94トン
船体の大きさ	全長 約18.00m 全幅 約4.50m 深さ 約2.00m 喫水 約0.90m	全長 14.69m 全幅 3.99m 深さ 1.80m 喫水 0.745m
材質	高張力鋼(上部は耐食アルミ合金)	鋼
乗船定員	33人	33人
速力	19ノット以上	20ノット
機関出力	約748kW(約374kW×2)	529kW

※総トン数は船の大きさ(容積)であり重量とは異なる。(総トン数1トンは約7m³)

3 経緯(東亜鉄工(株)との主な経緯)

- H28.4.1 川崎港巡視船建造 契約
- H29.3.9 試運転走行にて最大速力13.7ノットであると報告を受ける。
- H29.3.29 海上試運転検査において速力が19ノットに達しないことを確認する。
- H29.4.27 受注者から速力向上に向けて、建造した船舶の改造計画書を受理する。
- H29.5.31 市議会において事故繰越し報告をする。(報告第3号)
- H29.8.31 受注者が改造途中における試験走行を実施する。(速力約13.7ノット)
- H29.9.12 受注者が試験走行結果を改造計画書の速力シミュレーション結果に反映させ、改造内容について再度検討を開始する。
- H30.1.15 受注者から、船舶の納品を断念し、既存船舶「つばめ」の延命措置費用を負担する旨の文書を受理する。
- H30.1.22 受注者から契約解除の申し出を受ける。

4 受注者が納品を断念した原因について

平成28年度末に、受注者の重量管理ミスにより船舶の重量が重くなり、仕様書に定める速力を満足できないことが判明し、事故繰越しとなった。

その後、受注者から本市に改造計画が提出され、計画に基づき船舶の改造が進められたが、試験走行を行った結果、速力を確保することが不可能であると受注者が判断し、納品を断念する旨の文書が本市に提出された。

このため、本市として契約を解除するよう調整し手続きを行う。

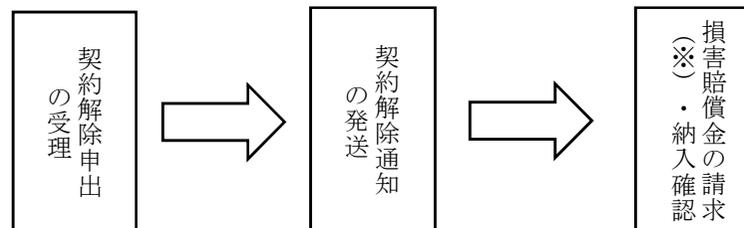
5 当面の対応について

今後については、今般の事態を踏まえ、新たな巡視船の建造を目指す。

新造船完成までの期間は、既存船舶「つばめ」を継続使用する。維持にかかる費用については受注者から同社が負担するとの申し出があった。

今後の契約解除事務の流れ(参考)

(契約解除の申出があった場合の一般的な契約解除の流れ)



※損害賠償金は契約書に基づき契約金額の10分の1相当額(27,203,364円)を請求